

小森揚水機場導水路その1工事 施工状況

<工事概要>

工期: 令和4年8月1日～令和5年3月24日

施工場所: 千葉県白井市平塚地内

二次製品ボックスカルバート工 B1,300×H1,200 mm L=220.550m

地盤改良工 基礎工・液状化対策工 595m³

事前調査

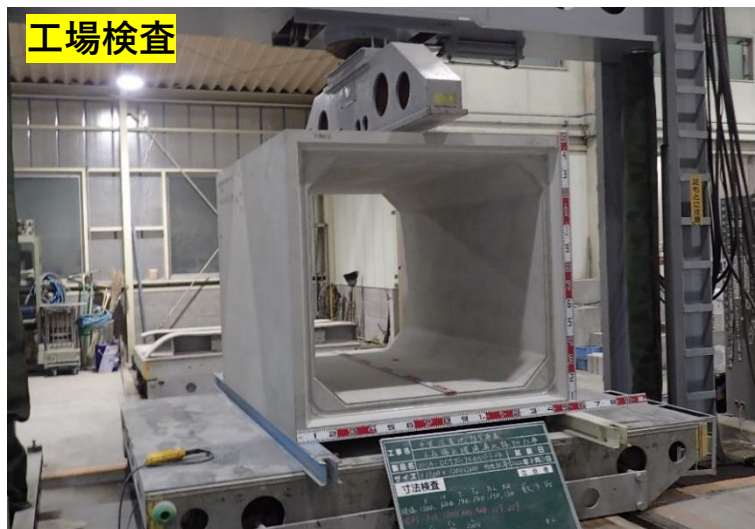


<事前調査> 令和4年8月

手賀沼周辺は、軟弱地盤のため「地盤改良」と呼ばれる現場の土質を改善する工事が必要になります。

施工前に地盤改良で使用する改良材の配合量を定めるため試料採取を実施しました。

工場検査



<工場検査> 令和4年8月

使用するボックスカルバートを製造している工場で、強度や規格が満足しているかを検査しました。

工事用道路



<工事用道路> 令和4年10月

工事は営農に支障が出ないように、施工場所周辺の稲刈りが完了した後に開始します。

まずは、工事に使用する重機を配置できるよう、水路に隣接する水田に工事用道路を整備しました。

＜続き＞

地盤改良



プラント



掘削



ボックスカルバート据付け



＜地盤改良＞令和4年11月

現場の土質を改善するため、事前調査で決定した改良材の配合量を基に地下9 m程度まで地盤改良を行いました。

地盤改良は、セメントやその他の添加剤を現地で配合するため、施工場所では大掛かりな設備（プラント）を設置しました。

フェノールフタレイン調査



▲地盤改良で使用するセメントはアルカリ性なので、地盤改良がしっかり出来ているかをフェノールフタレインをかけて調査します。

紫色になれば改良されている証拠です。

＜掘削＞令和4年12月

地盤改良を施した場所を掘削します。

地盤改良によって掘削時に地下水の影響や、のり面の崩落を防ぐことができ、安全に施工出来ます。

＜ボックスカルバート据付け＞令和5年1月
二次製品のボックスカルバートを現場に搬入して、掘削した場所にクレーンで据付けていきます。

※農林水産省では土木作業従事者の現場作業時間の軽減のため、二次製品（工場製作品）の利用を原則としています。

＜続き＞

埋戻し



＜埋戻し＞令和5年2月

据え付けたボックスカルバートに土を被せ、土中に埋めていき、道路を元通りに直していきます。

後片付け



＜後片付け＞令和5年3月

施工場所を元通りに（従前より美しく）していきます。

まさに「立つ鳥跡を濁さず」。

＜以上＞



地盤改良時の全景写真